科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位(時間)	科目責任者
老年看護学方法論 I	2年次 後期	必修	講義	1単位(30時間)	佐藤 純子 ※
授 業 概 要					
<p>高齢者に特有な健康問題・障害に焦点をあて、対象をICFの視点から修得する。また、健康問題・障害のある高齢者に対し、対象のもてる力(強み)を活用して望む生活に向かえるように、ICFの視点を活用した看護を理解する。</p> <p>本科目では、口腔ケアなど、技術を修得できるように演習を行う。</p>					
到 達 目 標					
<p>1. 高齢者に特有な健康問題・障害のメカニズムと看護について、生活機能を(ICF)の視点に基づいて説明する。</p> <p>2. 健康問題・障害のある高齢者に、看護を展開するための基本的知識と技術を修得する。</p>					
実務経験のある教員					
<p>佐藤 純子： 高齢者看護を实践する病院での臨床経験を踏まえ、高齢者特有の健康問題・障害に応じた看護の実際について、専門知識を踏まえ高齢者看護の展開を概説する。</p>					
回	学 習 内 容				担当教員
1	1. 高齢者の生活機能とその特徴(老年看護学概論Ⅱの復習)				佐藤 純子 ※
2-3	<p>2. 排泄パターンに変調のある高齢者の看護</p> <p>1) 加齢変化や排泄障害(尿失禁・便秘等)を持つ高齢者に対する援助</p> <p>2) 前立腺肥大症・前立腺がん患者の看護</p>				
4-12	<p>3. 高齢者に特有な疾患・症状と看護</p> <p>1) 骨折(大腿骨頸部骨折)・骨粗鬆症患者の看護</p> <p>2) 変形性膝関節症患者の看護</p> <p>3) パーキンソン病患者の看護</p> <p>4) 脳卒中後遺症のある高齢者の看護</p> <p>5) 肺炎患者の看護</p> <p>6) 摂食障害のある高齢者の看護(口腔ケア・嚥下体操など)</p> <p>7) 電解質異常患者の看護(脱水・熱中症)</p>				
13-15	<p>4. 皮膚トラブルのある高齢者の看護</p> <p>1) 高齢者の皮膚の特徴・スキンケア</p> <p>2) 老人性皮膚掻痒症患者の看護</p> <p>3) 褥瘡予防</p>				外部講師
学 習 方 法					
<p>講義 演習</p> <p>※高齢者の生活機能(ICF)について、老年看護学概論Ⅱの講義を復習してからの受講が望ましい。</p>					
評 価 方 法					
<p>[評価方法]</p> <p>小テストの得点と科目修了試験の合計得点を評価点とする。</p>					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
<p>[教科書]</p> <p>新体系 看護学全書 老年看護学概論/老年保健 老年看護学① 亀井 智子著 メヂカルフレンド社</p> <p>新体系 看護学全書 健康障害をもつ高齢者の看護 老年看護学② 亀井 智子著 メヂカルフレンド社</p> <p>[参考書]</p> <p>必要時授業開始時に提示する。</p>					